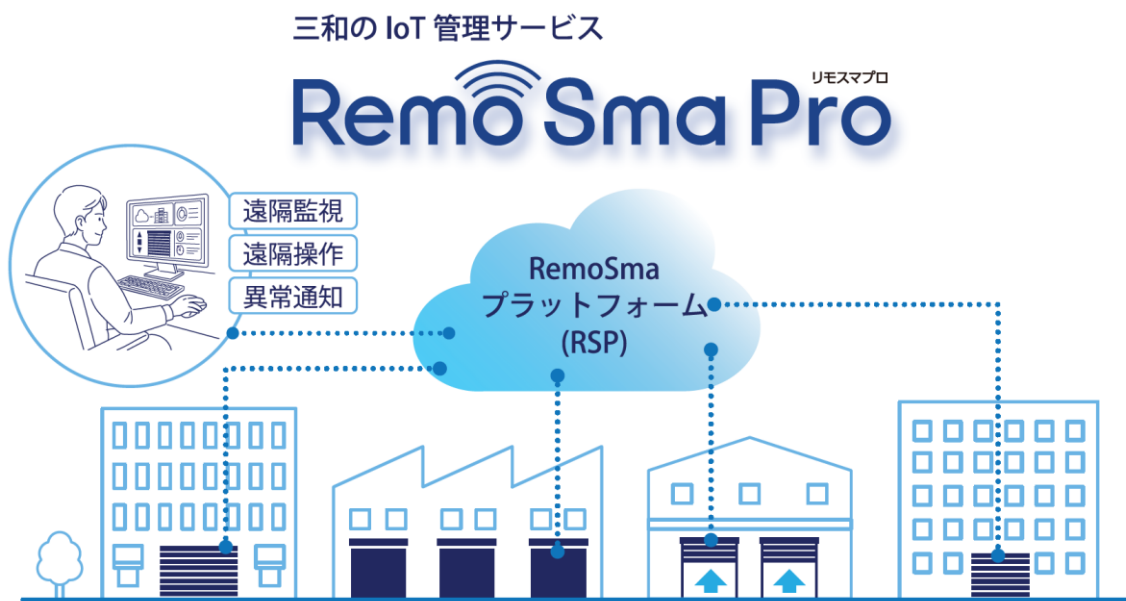


## 三和の開口部ソリューション DXで革新 IoT 管理サービス「RemoSmaPro (リモスマプロ)」を全国展開

～開口部の遠隔管理により、省人化と運用高度化を実現～

三和シャッター工業株式会社(本社:東京都板橋区/社長:高山盟司)は、シャッターの運用管理を効率化するIoT管理サービス「RemoSmaPro (リモスマプロ)」を6月18日より全国展開いたします。



近年、建物管理の現場では人手不足や働き方改革を背景に、設備管理業務の省人化・効率化が強く求められております。中でもシャッターなどの開口部設備では、日常的な開閉操作や巡回確認の負担に加え、異常状態の把握遅れや突発的な故障に対応する設備管理者の不足も深刻化しています。

こうした課題に対応するため、当社は建物の開口部をデータで一元管理するIoT基盤「RemoSmaプラットフォーム(RSP)」を構築しました。

IoT管理サービス「RemoSmaPro」は、本プラットフォーム上でシャッターなどの開口部設備の状態を遠隔から監視・操作できるほか、異常通知や履歴管理などの機能を提供するIoTサービスです。これにより、従来の現地対応を中心とした設備管理から、遠隔監視とデータ活用による効率的な管理へと転換を図り、建物管理業務および当社メンテナンス対応の高度化・効率化に貢献します。

また、本プラットフォームを基軸としたサービスの拡充や新たな価値創出にも取り組み、建物管理のさらなる高度化に寄与してまいります。

三和シャッター工業は、お客様の多様なニーズにお応えできるよう、安全・安心・快適を提供することにより社会に貢献するという使命のもと、お客様の視点に立った商品・サービスを今後も提供してまいります。

- ◆サービス名 IoT管理サービス「RemoSmaPro (リモスマプロ)」
- ◆全国展開時期 2026年6月18日

## ◆特長

### ①状態をリアルタイムで見える化【遠隔監視】

シャッターの開閉状態や稼働状況をリアルタイムで可視化。離れた場所からでも状態確認が可能で、巡回点検の負担を軽減します。また、高速シートシャッター「クイックセーバー」の開放状態を把握することで、開きっぱなしによる粉塵・虫の侵入といった環境悪化の防止や、空調効率の低下抑制によるエネルギーコスト削減にも貢献します。

### ②離れた場所から安全・確実に操作【遠隔操作】

パソコン画面から複数拠点のシャッターを個別に操作可能。現地に赴くことなく効率的な運用管理を実現します。また、タイマー設定による自動開閉にも対応しており、時間帯に応じた計画的な運用が可能です。さらに、開閉時には音と光で周囲に注意喚起を行い、センサーが障害物や人を検知した場合には自動停止する安全機能を備えるなど、安全性に配慮した遠隔操作を実現します。

※高速シートシャッター「クイックセーバー」は対象外

### ③異常発生を即時に通知、迅速な対応を支援【異常通知】

故障や異常動作を検知すると即時にメールで通知。トラブルの早期発見・迅速対応によりダウンタイム低減や安全性の向上に寄与します。

### ④メンテナンス時期の見える化【予防保全】

開閉回数や使用期間などの稼働データを蓄積・分析することで、交換時期が近づいた部品を事前にお知らせ。計画的なメンテナンスを可能とし、突発的な故障の未然防止と保守コストの最適化に貢献します。

### ⑤IoTプラットフォームによるセキュアな運用【統合管理】

IoTプラットフォームサービス基盤「RemoSmaプラットフォーム(RSP)」を構築。外部ネットワークからの不正アクセスリスクを低減し、高いセキュリティを確保しながらデータを一元管理します。また、拡張性のあるプラットフォームとして各種設備との連携にも対応します。

### ⑥無線化により導入コスト・工事期間を大幅削減【導入性】

無線通信の採用により、大掛かりな配線工事を不要とし、導入コストおよび工事期間を大幅に削減。新設だけでなく既設シャッターへの後付けにも対応可能です。導入から運用までワンストップで支援し、長期的な設備価値向上に貢献します。

## ◆対象商品

軽量電動シャッター、重量電動シャッター、クイックセーバー

## ◆導入実績（※本サービスは2025年6月よりエリアを限定して先行提供しております）

昨年度のサービス提供以降、複合ビル、商業施設、鉄道施設などを中心に導入が進んでおり、開閉業務の省人化、管理業務の効率化などについてお客様よりご評価いただいております。



※複数のイオングループ店舗



阪急阪神ビルマネジメント株式会社

※大型商業施設にて実証実験中



三菱地所

※新丸の内ビルディング

※企業名は50音順(敬称略)

◆参考価格(仕様:当社製重量シャッターW10,000mm未満の場合)

サービス提供に係る追加機器費用:1,100,000円

※本サービスの利用には、別途サービス利用料が必要となります。

※シャッター本体、取付工事費、搬入費、諸経費、消費税は含まれておりません。

◆販売目標

3億円(2026年度)

※上記に記載されている情報は、発表日現在のものです。

予告無く仕様、価格など変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。